

## 第1回和歌山県災害対策本部会議 議事概要

日時：令和6年8月8日（木） 18時00分～18時10分

場所：県庁南別館2階 災害対策本部会議室

出席者：岸本本部長、下副本部長、河野副本部長、各本部員等、和歌山地方気象台

### 議事概要

河野副本部長

本日16:43頃に宮崎県沖にマグニチュード7.1の地震が発生。南海トラフ地震の想定震源域で発生したため、南海トラフ地震臨時情報・調査中が発表されており、災害対策本部会議を立ち上げることになっているため、皆さんにお集まりいただいた。

南海トラフ臨時情報の発表は全国で初めてであり、認識を共有しておきたいということもあり集まっていた。

総合統制室（防災企画課長）から南海トラフ臨時情報について解説をお願いします。

総合統制室（防災企画課長）

南海トラフ地震臨時情報は後発地震への注意喚起を行うもの。

相当規模の先発地震が発生したら気象庁から臨時情報が出て注意喚起が行われる。そういう仕組みになっているので、お手元の資料でご説明申し上げます。マグニチュード6.8以上の地震が発生した場合に、まずはこの南海トラフ地震臨時情報・調査中が発令される。現在、国で専門家会議を開催し、今後後発地震が発生するかどうかを判断することになる。これが概ね2時間程度で結果が出ると言われている。今後出される可能性のある情報として、プレート境界でマグニチュード8.0以上の地震が発生した場合、こちらは大きな地震が発生したら後発地震も大きい可能性があるということで、南海トラフ巨大地震・巨大地震警戒というものが発表される。これが発表された場合、県民の皆様には備えの再確認をお願いしますことになる。津波から逃げてもらうので、津波の避難困難地域にお住まいの方は1週間の事前避難をお願いしますこととなる。それと、30分以内に30センチ以上の津波の到来が想定される地域については、避難する時間のかかる、高齢者等の要配慮者の方においては、1週間の事前避難をしていただくようお願いすることになる。

また、マグニチュード7.0以上の地震が発生したと評価された場合は、南海トラフ地震臨時情報・巨大地震注意が発表され、この場合は、県民の皆様には、家具の固定や避難場所の確認など地震への備えの再確認をお願いします。

このほか、ゆっくり滑りという境界付近でプレートがじわりじわりと動くというものがあり、この場合でも後発地震の可能性があるとされているため、この場合でも南海トラフ巨大地震臨時情報・巨大地震注意が発表される。

その後、調査の結果、後発地震のおそれがないと判断されると、南海トラフ地震臨時情

報・調査終了という形で発表される。

現時点では、今後どのような情報が出るかというところで、国の調査を注視しているところ。

#### 和歌山地方気象台

テレビ等で報道されているが、概要をお伝えする。震源は日向灘の方で深さ約 30 キロメートル。当初はマグニチュード 6.9 だったが、精査した結果マグニチュードは 7.1 に変わっている。津波注意報が現在愛媛県、高知県、宮崎県、鹿児島県方面で発表されている。津波の発生地域があるので、避難をしていただくようお願いする。最大深度は宮崎県日南市で 6 弱。近畿地方から奄美大島にかけて震度 5 強から震度 1 を観測している。震度 1 以上の余震は発生していない。長周期地震動階級 3 を宮崎県南部山沿いの方で観測している。過去に大地震発生後、同程度の地震が発生することが 1、2 割あることから、十分な注意が必要だと思う。

ところで先ほどから言われているように南海トラフ地震臨時情報・調査中を発表している。その検討会を 17 時 30 分から開始している。この結果はあと 1 時間程度で出ると思うので、今後の情報に十分注意願う。

#### 河野副本部長

今、お話しにありましたように、この臨時情報・調査中という形の中で、本県では昨年度に防災体制を見直し、今年から非常体制 1 号ということでお集まりいただいている。これが、臨時情報・巨大地震警戒や臨時情報・巨大地震注意になった場合は非常体制 2 号に格上げになる。

#### 岸本本部長

皆さん緊急に集まっていただきありがとうございました。

これまで気象庁の方も含めて危機管理部の方から説明のあったとおり、津波について、和歌山県は注意報も出ていない状況ですけれども油断しないように見守っていきたいと思います。

それから、我々も初めてのケースですけれども、今回、南海トラフ地震臨時情報というものが発表されました。調査が終わるまでは緊張感をもって対応していただきたいと思えますし、また余震等もあると思えますので、南海トラフ地震については、これまで訓練も行い、様々な会合で意見交換をしてきましたけれども、我々も現実のものとして認識するのが本日のこういうタイミングで深まったと思えますので、今後、南海トラフのみならず、防災関係については県庁の幹部の皆さん、私も含めてしっかりと緊張感をもって対応していきたく思いますので、よろしく願います。私からは以上です。

河野副本部長

これから国の方で行っている調査の結果を踏まえて状況判断することになるため、一旦この状況が続く。今回の本部対策会議はこれで終了とする。

次回会議は臨時情報の調査結果次第で皆さんにお知らせしたい。